



Rotary

第2730地区

宮崎中央ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF MIYAZAKI-CHUO



週報

今月のテーマ 『基本的教育と識字率向上月間』

第1401回例会

2015年9月24日 Vol.30/No.12

■本日の例会

第1402回 平成27年10月1日(木)

- 会長・幹事・各委員会報告
- 会員卓話…木村聡之 会員
「マイナンバー制度について」
- 誕生&結婚お祝い報告

■前回の例会

第1401回 平成27年9月24日(木)

- 会長・幹事・各委員会報告
- イニシエーションスピーチ…山田知樹 会員
- ロータリー情報プログラム…江島 寛 委員長
- 前年度出席100%表彰

【出席率状況報告】

- 会員数 51名
- 出席者 37名
- 欠席者 14名
- 出席率 74.00%
- 1/100補正出席率 82.35%

■会長挨拶

会長 藤原昭公



皆さん、こんにちは。

ロータリーには「平和と紛争予防/紛争解決」「疾病予防と治療」「水と衛生設備」「母子の健康」「基本的教育と識字率向上」「経済と地域社会の発展」の6つの分野に重点を置いて活動しています。そして今月はその中の「基本的教育と識字率向上」月間です。なぜ、基本的教育と識字が重視されるのでしょうか。世界には子供たちが基本的な教育を受けられず、成人が十分に読み書きできない国や地域があります。そうした地域で基本的教育を提供し、識字率を上げれば貧困の削減、健康状態の改善、地域社会と経済の発展、平和構築の糸口をつかむことができるといわれています。具体的にはすべての女性が初等教育を修了すれば妊婦の死亡率が66%減少し、読み書きできる母親を持つ子供は、読み書きできない母親の子と比べ5歳以上まで生き延びる確率が50%高く、低所得国で全生徒が読み書きを習得した場合1億7,100万人が貧困から抜け出すことができ、これは全世界の貧困の12%に相当するといわれています。世界的に教育・識字の分野では進展がみられていますが、まだ、世界で5,800万人の子供が学校に通っていません。そして世界人口の15%に当たる7億8,100万人の成人が読み書きできないのです。先住民など少数派言語を話す人々は識字率が低い傾向にあります。こうした人々は母語による読み書きは出来ても公用語を生活や仕事に必要なレベルで使えません。我々には遠い世界のことであり、どうにもできないことのように感じるかもしれませんが、こうした成人向けの識字プログラムを開発したり、初等教育に携わる教員の養成プログラムを作成したり、授業教材を提供するなど、現実

に可能なのです。ロータリーではグローバル補助金を利用し、VTT(職業研修チーム)を派遣することも紹介しています。この分野について具体的に何が 필요한のか、何ができるのか、よくよく検討すれば我々もこの活動に取り組むことができるのではないのでしょうか。

■幹事報告

幹事 田中 寿



- ①ロータリーのドルレートが10月は120円に変更になります。
- ②宮崎地裁から、成年後見人制度等の説明会の案内が来ております。

■2014～2015年度出席100%表彰

前年度副委員長 坂本弘史

出席100%者(敬称略)

(29年)秦喜八郎/(27年)黒木雄一
/(25年)日高海雄/(24年)押川絃一郎/(23年)三輪修珍、長岡紀行、片木重光/(21年)鳥山 浩、池田豊繁/(19年)新田敬介/(16年)平松 寛/(10年)田島直也/(7年)井上真由美/(6年)湯浅敏幸/(5年)香川美穂子/(2年)江口健一

(計16名)平成27年6月30日現在



■地区クラブ研修委員会出席報告



情報・研修委員長 江島 寛

9月13日(日)に都城市のメインホテルで開催された「地区クラブ研修委員会」に出席して参りました。地区内49クラブから83名の出席でした。野中玄雄Gの挨拶のあと、古江地区研修委員長の説明に続き、山下皓三PGがまずDLPの内容について講演されました。

DLPとは、District Leadership Planの略です。

DLPは、1997年からRIがRCの衰退や会員減少を食い止めようと、各地区に出した指令とも言うべきものであり、その目的は、「元気で明るいクラブを目指して」地区に対してはDLP、更にはそれに伴い各クラブに対しては後に述べるCLPを実践することによりクラブの充実強化を図ろうというものです。

DLPはRIの地区に対する指令ですので地区はこれに従わねばならず、2730地区の組織も2013-14年度から大幅に変更されています。

山下PGの講演に続いて、当クラブの秦PGが「CLPの取組について」と題して講演されました。

CLPとは、Club Leadership Planの略語です。

CLPは、2004・11にRI理事会が正式にクラブ管理組織として承認し、新たな推奨クラブ細則の制定、クラブ定款に4大奉仕部門の明記がなされ、以後各クラブにCLPを採用することが推奨されて現在に至っています。

「推奨」ですからCLPを採用するか否かは各クラブの自治権、自主性に委ねられており、採用を義務化するものではありませんが、RIがCLPを承認して以来既に10年が経過しており、地区としてもCLPに積極的に取り組んでほしいとの強い要望がなされました。

CLPを採用するには、従来の5大奉仕委員会(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・青少年奉仕・国際奉仕)の組織を全面的に改変し、クラブ管理運営委員会・会員増強委員会・広報委員会・奉仕プロジェクト委員会・ロータリー財団委員会という構成にする必要があります。

これにより、各会員に多くのプロジェクトへの参加、ひいてはクラブの活性化が図られるのでな

いかと期待されているのです。

野中Gのお話ではCLPに取り組んでいる地区のクラブは70%あるとのことでしたが、会員名簿を見る限り、宮崎県中部分区でCLPを採用した委員会構成にしているクラブは宮崎東、高鍋、西都、佐土原の4クラブしかありません。

しかしながら、CLPの採用が強く求められている現状に鑑みますと、当クラブもCLP採用に向けて動き出す必要があるのではないかと思います。

ハッピーボックス (敬称略)



●草田哲也…昨日結婚記念に素敵なお花をお贈りいただきまして誠にありがとうございました。おかげ様で素晴らしい結婚20周年となりました。



●西橋龍博…誕生祝い、有難うございました。いただいた陶花さんのグラスで、おいしいお酒をグビグビ飲んでます。



●湯浅敏幸…61才の誕生祝いありがとうございました。還暦を迎えたと思ったら、あっという間に一年間が過ぎてしまいました。日を重ねることに、老化を感じる今日、この頃です。

出席委員会報告 委員長 草田哲也

◆9/10メイクアップ者名(敬称略)
井上真由美、甲斐孝則、黒木陽子
新地康宏、秦喜八郎、山川 力



イニシエーションスピーチ 山田知樹 会員

今回、宮崎中央ロータリークラブに入会させていただきました宮崎銀行本店営業部長をしております山田でございます。どうぞ、よろしくお願ひします。生まれは、1960年(昭和35年)4月30日の55歳、血液型B型です。出身は延岡市で、延岡高校を卒業するまで延岡市で過ごしました。大学卒業後、宮銀に入ったわけですが、初任地は延岡支店、現延岡営業部に配属されました。4年後に宮崎支店(橋通東1丁目)に転動して初めて宮崎で過ごすことになりました。



発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市富田町10-25 富田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/藤原昭公 副会長/香川美穂子 幹事/田中 寿
クラブ会報委員会/委員長:新地康宏 副委員長:江口徹一 委員:鈴木克信、長友久人、小西明美、川崎孝幸